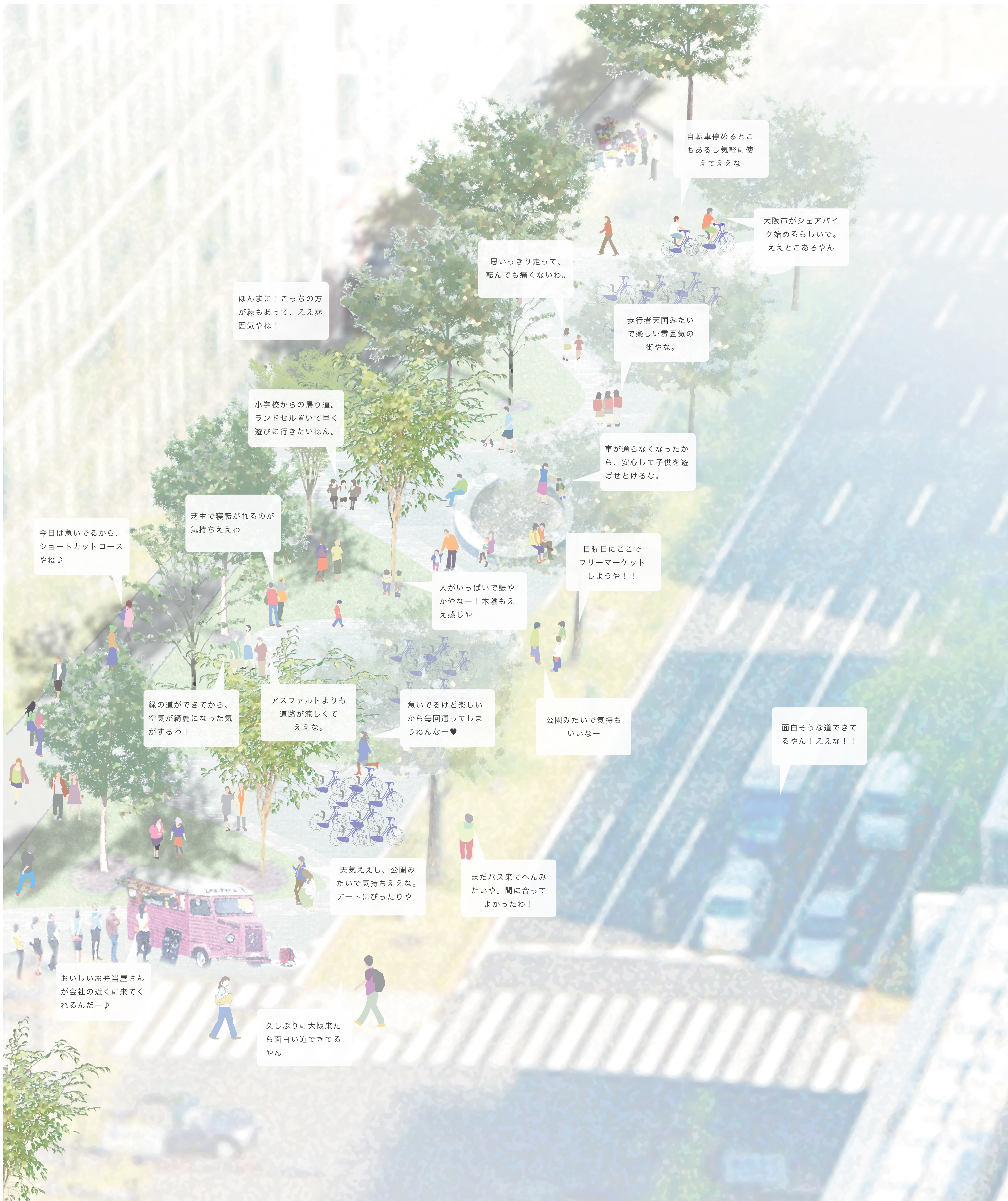




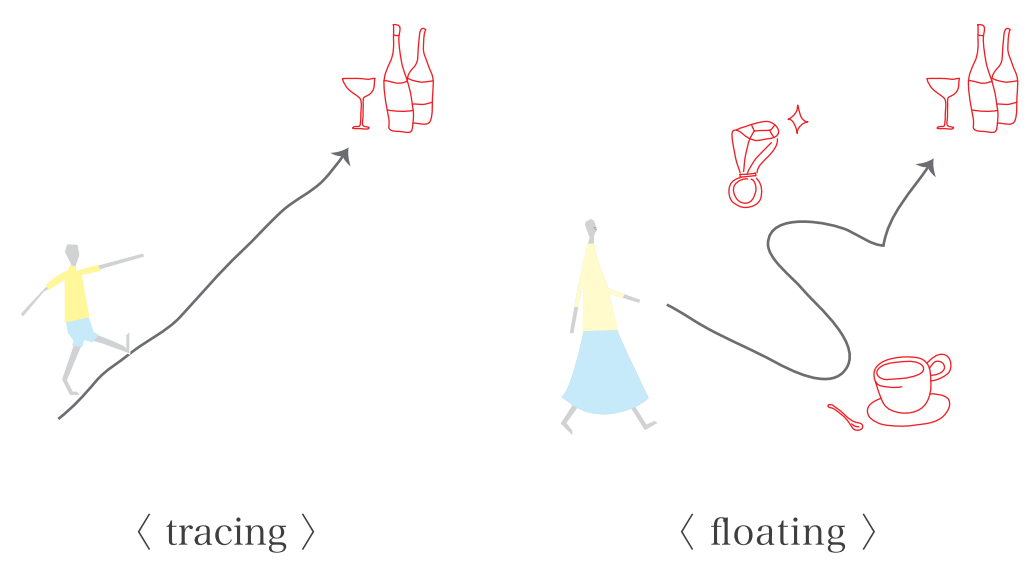
Flowing - 漂うように街を歩く -

御堂筋を行き交う人々の足は速く、流れも目的地の最短ルートを進むように直線的で忙しい。

そこで人の歩く速度を少しだけゆっくりさせるために、グネグネと曲がりくねった道を新たに挿入する。曲がりくねった内側のカーブの余剰スペースは東屋（休憩所）や自転車置場、屋台など様々なアクティビティがあふれる場として捉え、近隣の商業施設やオフィスに応じて雰囲気を変える。

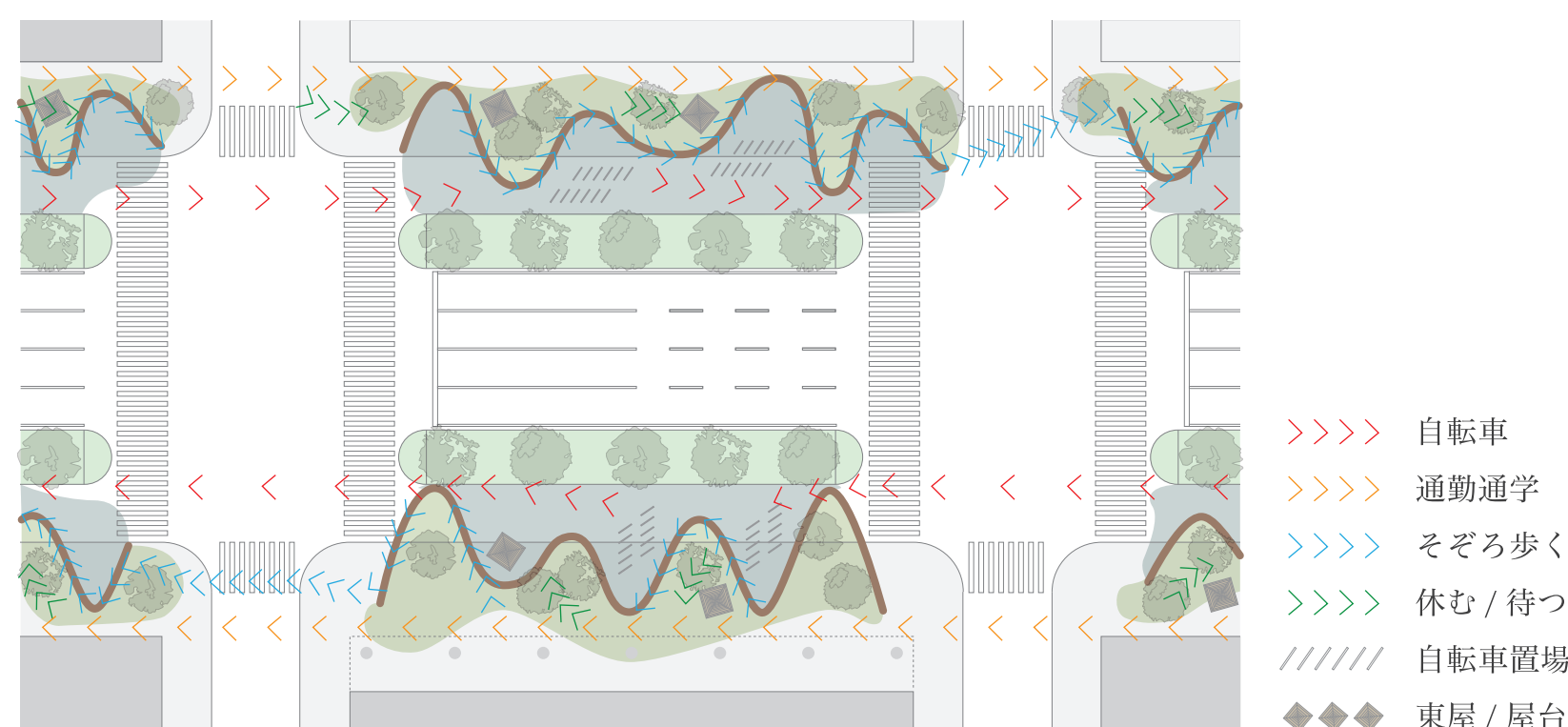
同じ側道の中にも人の歩く速度にムラをつくることで、歩く人や休む人、人待つ人みんなが共有できる新たな通りの豊かさをつくれるのではないかと考えた。

■ 〈tracing〉→ 〈flowing〉 漂うように街を歩く



目的的で直線的な移動〈tracing〉な道の歩き方から、さまよい歩きのような移動〈flowing〉な道の歩き方へ

■ 御堂筋の歩行者速度に“ムラ”をつくる



グネグネと曲がりくねった道は〈そぞろ歩く道〉となり、側道を再編する事で様々な動く速度の違う人達（アクティビティの違いによる速度）が同時に存在する。